様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	長崎総合科学大学
設置者名	学校法人　長崎総合科学大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
工学部	工学科	夜・通信	2		201	203	13	
		夜・通信						
総合情報学部	総合情報学科	夜・通信		2	26	28	13	
		夜・通信						
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

WEB上で公開している「シラバス」の冒頭に一覧を掲載している https://nias.ac.jp/files/uploads/syllabus.pdf

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	長崎総合科学大学
設置者名	学校法人　長崎総合科学大学

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://www.nias.ac.jp/files/uploads/soshiki_index.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	前畑造船株式会社 取締役会長	2025.5.31 ～ 2027.5.31	法人業務の総理
非常勤	元 長崎県教育委員会委員	2025.5.31 ～ 2027.5.31	大学発展のための外部意見の具申
非常勤	学校法人城西大学　総務局長	2025.5.31 ～ 2027.5.31	大学発展のための外部意見の具申
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長崎総合科学大学
設置者名	学校法人　長崎総合科学大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

教務専門委員会でシラバス作成のためのマニュアルを策定し、作成依頼時に提示し、毎年ＦＤを開催し周知を図っている。
シラバスはＷｅｂ上で登録しており、各科目担当者が登録後に所属の教務専門委員が内容を確認し、修正が必要な場合は科目担当者へ修正を依頼し再度確認するようにしている。教務専門委員による確認が終了した後、教務委員長、副委員長により再度確認し公開している。
学生はＷｅｂポータルシステムでオリエンテーション以降シラバスを閲覧することが可能となり、同じ内容のシラバスをＰＤＦ化して大学ホームページにも公開している。

授業計画書の公表方法	https://nias.ac.jp/files/uploads/syllabus.pdf

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

シラバスに公表されている評価方法・評価基準に基づき評価を行っており、学生が理解しやすいように、ルーブリック評価表がＷｅｂポータルシステムのシラバス閲覧機能から参照できるようになっている。

評定得点区分は以下の通り。
Ｓ（90～100 点)、Ａ（80～89 点)、Ｂ（70～79 点)、Ｃ（60～69 点)、Ｄ（59 点以下）の５段階評価

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

2019年度より「学修成果の指標に関する規程」を制定し以下のように運用している。
授業科目の成績評定に対して、Ｓには４点、Ａには３点、Ｂには２点、Ｃには１点、Ｄには０点のGrade Point（ＧＰ）を対応させ、履修した各授業科目に対して、その単位数にＧＰを乗じてから合算し、その合計を履修申告した総単位数で除算する。その結果から、小数点以下第３位の値を四捨五入して得られる値をＧＰＡの値とし、学生の履修指導などに利用している。ＧＰＡの計算式は以下の通り。

$$GPA=\frac{(S\text{の単位数}\times 4)+(A\text{の単位数}\times 3)+(B\text{の単位数}\times 2)+(C\text{の単位数}\times 1)+(D\text{の単位数}\times 0)}{(S\text{の単位数})+(A\text{の単位数})+(B\text{の単位数})+(C\text{の単位数})+(D\text{の単位数})}$$

客観的な指標の算出方法の公表方法	規程集(P.61)へ掲載 https://nias.ac.jp/files/uploads/kiteishu2025.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

建学の精神である「自律自彊」（教養・倫理を身につけ、自らを律することのできる市民となる）、「実学実践」（自然科学に関する基礎知識と工学の専門知識を修得し、「ものつくりとしての実行力」を身につける）「創意創新」（論理的思考を修得し、新しい問題に取り組み、新しいものを創造することにより解決できる能力を身につける。工学の専門家としては「ものまねでない新技術の開発力」を身につける）「宇内和親」（人間社会の多様な文化を理解し、世界的な視野を持って、社会の一員としてその発展に貢献できる能力を身につける）を体現した者に学位を授与する。そのためには大きく分けて２つの専門知識が必要であり、１つはこれまでそしてこれからも日本の基盤となる工学技術の中核をなす工学の専門知識であり、それを修得した者に工学部工学科は学士（工学）の学位を授与します。もう１つは、新時代に出現し、これからの社会の基盤となる情報技術と密接に組み合わさり、それを様々な分野に横断的かつ総合的に活用し、その活用を介して様々な分野を繋ぎ新しい価値を創生するという、新しい工学の専門知識を修得した者に総合情報学部総合情報学科は学士（工学）の学位を授与します。

卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.nias.ac.jp/course/policy#bge-diploma

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	長崎総合科学大学
設置者名	学校法人長崎総合科学大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nias.ac.jp/files/uploads/taisyaku.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.nias.ac.jp/files/uploads/shikinsyuushi.pdf
財産目録	https://www.nias.ac.jp/files/uploads/zaisanmokuroku.pdf
事業報告書	https://www.nias.ac.jp/files/uploads/jigyohokoku.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.nias.ac.jp/files/uploads/kanjikansahoukoku.pdf

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：https://www.nias.ac.jp/files/uploads/tyuki.pdf

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：https://www.nias.ac.jp/administration/publicinfo/hyouka

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：https://www.nias.ac.jp/administration/publicinfo/hyouka

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　工学部、総合情報学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.nias.ac.jp/files/uploads/publicinfo_kouhyou_mokuteki.pdf）
（概要） 建学の精神及び大学の理念に基づいて、広く教養的知識を授けるとともに深く各専門分野の学術技芸を教授研究し、人間性豊かで創造性に富み地域及び国際社会に貢献できる人材を養成することによって、人間社会及び科学技術の進展に寄与することを目的としています。
卒業又は修了の認定に関する方針 （公表方法：https://www.nias.ac.jp/course/policy#bge-diploma）
（概要） 建学の精神である「自律自彊」（教養・倫理を身につけ、自らを律することので きる市民となる）「実学実践」（自然科学に関する基礎知識と工学の専門知識を修 得し、「ものつくりとしての実行力」を身につける）「創意創新」（論理的思考を 修得し、新しい問題に取り組み、新しいものを創造することにより解決できる能力 を身につける。工学の専門家としては「ものまねでない新技術の開発力」を身につ ける）「宇内和親」（人間社会の多様な文化を理解し、世界的な視野を持って、社 会の一員としてその発展に貢献できる能力を身につける）を体現し、日本の基盤と なる工学技術の中核をなす工学の専門知識を修得した者に、工学部工学科は学士 （工学）の学位を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：https://www.nias.ac.jp/course/policy#bge-curriculum）
（概要） 教育課程は将来の社会において一個の人間として自立しつつ、社会に積極的に関わり貢献していく市民となるために必要な教養を学ぶための共通科目系列と、工学の専門知識を学び「ものつくりとしての実行力」・「ものまねでない新技術の開発力」を獲得し、技術者としての倫理観を持った２１世紀循環型社会の構築に貢献し将来の社会を担う人材を養成するための専門科目系列の大きく２つに分かれ、２つの科目系列の枠組みにとらわれず、それぞれが有機的に連携することにより、自らの人生全体を考え、自ら建てた目標を目指す態勢を整えるキャリア教育があり、大学入学前の教育制度に属していた人間が最高学府である大学に所属する大学生となるという心構えの転換を行う導入教育から始まり、市民として必須の論理的な思考やコミュニケーション能力を身につけ、さらに自らが学んでいく専門知識がどのように社会と関りあっているのかを学ぶことにより社会に出ていく準備を整えると共に、生涯にわたって様々なことを自ら学んでいく姿勢自体を身につけられるよう設計されています。この２つの科目系列が相互に相関しあい、全体として１つの教育課程を修めることにより、学位授与の方針に定められた人物像に成長できるように設計されています。このことを保証するために、各科目群には必修科目などの指定をしています。その条件を満たしつつ、卒業要件を満たすことにより、学位を取得できるようになっています。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：:https://nias.ac.jp/35_Policy/index.html#admission）

（概要）
世界の国々にいち早く交流の窓を開いた長崎。この長崎に私たちの長崎総合科学大学はあります。私たちは「自己の確立」「ものつくりとしての実行力」「ものまねでない新技術の開発力」「世界的視野の保持」を建学の精神として、時代と社会の要請に応え、大学として果たすべき役割を担ってきました。現在、人類社会はかつてない勢いで変化をしています。そのため私たちは現在の社会においてのみならず、将来どのように社会が変化しようとも、その社会において自分の足で地に立ち社会に貢献できるような、普遍的な能力を持つ人間を育成することを目指しています。

工学部工学科は、これからの 21 世紀型市民に必要な教養と協働する知性を持ち、工学の専門家として「ものつくりとしての実行力」「ものまねでない新技術の開発力」を備えた人間を育成するという目的のために、次のような資質、能力を有する学生を求めます。

・知的好奇心が旺盛で、新しいことを学ぶ意欲を明確に持つ人
・新しい何かを創造することに興味を持ち、それによって社会に貢献したいという志を持つ人
・自ら課題を見つけ、それに挑戦する気概を持つ人

このような学生を受け入れるために、自らの資質を何によって顕そうとするかに応じた入学者選抜を行います。学習成果を重視する一般選抜、学校推薦による学校推薦型選抜、社会の中で成し遂げた業績等による総合型選抜を実施します。また、留学生、社会人および帰国生徒のための入学者選抜を行います。

全ての入学者選抜において、学力の３要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を多面的・総合的に評価します。

総合情報学部総合情報学科は、一般・専門基礎知識を広く修得して、情報技術とそれが活用される様々な分野についての広範な知識と技術を有し、21 世紀循環型社会に求められる情報技術の活用技術の開発に寄与し、高い国際性・技術者倫理・コミュニケーション能力・課題発見能力・課題解決能力を持つ人材を養成することを目的とします。そのために、次のような学生を求めます。

・情報技術に興味を持ち、さらに幅広い能力を向上させようとする人
・高い志を持ち、環境にも配慮した新しい価値を創造することを通じて、社会に貢献したい人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.nias.ac.jp/administration/publicinfo/kouhyou

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	4人	－					4人
工学部	－	10人	3人	3人	2人	0人	18人
総合情報学部	－	7人	6人	3人	0人	0人	16人
共通教育部門	－	5人	1人	5人	0人	0人	11人
いずれの学部にも所属しない聴講生・研究生等	－	0人	0人	1人	0人	0人	1人

b.教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0人	70人	70人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：https://nias.ac.jp/teachers/

c.ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

【ＦＤ】
令和6年8月21日　科研費説明会
令和6年11月29日　教育の質の保証について、研究授業
令和6年12月19日　発達障害学生について

【共同FD】
令和6年12月6日　数理・データサイエンス・AI教育の充実に向けた実践と課題
令和7年3月10日　DXによる大学教育の質的転換、数理・データサイエンス・AI

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
工学部	１００人	８３人	83.0%	５５０人	３７２人	67.6%	若干名人	０人
総合情報学部	７５人	８８人	117.3%	３３０人	３６０人	109.0%	若干名人	１人
合計	１７５人	１７１人	97.7%	８８０人	７３２人	83.1%	人	１人

（備考）

b.卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
工学部	95人 (100%)	18人 (18.9%)	72人 (75.8%)	5人 (5.3%)
総合情報学部	67人 (100%)	12人 (17.9%)	47人 (70.2%)	8人 (11.9%)
合計	162人 (100%)	30人 (18.5%)	119人 (73.5%)	13人 (8.0%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）
進学先：長崎総合科学大学大学院
就職先：㈱大島造船所、㈱名村造船所、東京エレクトロンデバイス長崎㈱、五洋建設㈱、大東建託㈱
オリエンタル白石㈱、三菱電機プラントエンジニアリング㈱、北川精機㈱、長崎県上五島病院
㈱アインホールディングス、アークレイ長崎開発センター㈱、富士ソフト㈱、ひぐちグループ
㈱九州しんきん情報サービス、㈱沖縄環境分析センター、協和機電工業㈱

（備考）

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (　%)	人 (　%)	人 (　%)	人 (　%)
	人 (100%)	人 (　%)	人 (　%)	人 (　%)	人 (　%)
合計	人 (100%)	人 (　%)	人 (　%)	人 (　%)	人 (　%)

（備考）

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
教務専門委員会でシラバス作成のためのマニュアルを策定し、作成依頼時に提示すると共に毎年ＦＤを開催し周知を図っている。
シラバスはＷｅｂ上で登録しており、各科目担当者が登録後に所属の教務専門委員が内容を確認し、修正が必要な場合は科目担当者へ修正を依頼し再度確認するようにしている。教務専門委員による確認が終了した後、教務委員長、副委員長が再度確認し公開している。
学生はＷｅｂポータルシステムでオリエンテーション以降シラバスを閲覧することが可能となり、同じ内容のシラバスをＰＤＦ化して大学ホームページにも公開している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
Ｓ（90～100 点）、Ａ（80～89 点）、Ｂ（70～79 点）、Ｃ（60～69 点）、Ｄ（59 点以下）の５段階で評価し、シラバスに公表されている評価方法・評価基準に基づき評価を行っている。また、学生がより理解しやすいよう評価基準を補完するものとして、Ｗｅｂポータルシステムのシラバス閲覧機能からは、ルーブリック評価表が参照できるようになっている。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
工学部	工学科	124 単位	有・無	48 単位
総合情報学部	総合情報学科	124 単位	有・無	48 単位

ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）	公表方法：WEB 上で規程集(P.113-114)へ掲載 https://nias.ac.jp/files/uploads/kiteishu2025.pdf
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）	公表方法：WEB 上で履修ガイドを公開 https://nias.ac.jp/files/uploads/risyu_2025.pdf

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.nias.ac.jp/administration/publicinfo/kouhyou

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 （年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
工学部	工学科	820,000 円	230,000 円	460,000 円	教育充実費 300,000 円 実験実習費 160,000 円 ※医療工学コースは、 履修費 25,000 円別途納入
総合情報学部	総合情報学科	820,000 円	230,000 円	460,000 円	教育充実費 300,000 円 実験実習費 160,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）

教務班において時間割（講義、試験）の作成、受講登録の受付、成績管理に対応している。学生係では生活相談やクラブ・サークル活動の支援に関することに対応している。

b.進路選択に係る支援に関する取組

（概要）

キャリア教育科目を開講し、学生自身が主体的に考えることが出来るよう支援している。就職に関しては、求人先の開拓、調査、就職の斡旋や情報提供を行い、進路についての相談に応じている。

c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）

健康診断、保健指導及び精神衛生管理に関することや、身体的、精神的健康相談及び応急処置について対応している。また、専門医療機関の紹介、斡旋も行っている。
心肺蘇生教育の普及のため学内で心肺蘇生法の講習会を実施している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.nias.ac.jp/administration/publicinfo/kouhyou

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F142310111201
学校名（○○大学 等）	長崎総合科学大学
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人長崎総合科学大学

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		139人（　　）人	144人（　　）人	0人（　　）人
内訳	第Ⅰ区分	56人	59人	
	（うち多子世帯）	（　　人）	（　　人）	
	第Ⅱ区分	31人	31人	
	（うち多子世帯）	（　　人）	（　　人）	
	第Ⅲ区分	31人	25人	
	（うち多子世帯）	（　　人）	（　　人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	18人	24人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	3人	5人	
	区分外（多子世帯）	人	人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（　　）人
合計（年間）				0人（　　）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	－人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	－人	人	人
計	－人	人	人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	－人	人	人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当）	0人	人	人
ＧＰＡ等が下位４分の１	－人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	－人	人	人
計	－人	人	人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。